

今後は、胴割粒、乳白粒や褐色粒の発生防止に向け、登熟期間の飽水管理と適期収穫でどんな天候にも対応できる稲作管理に努めましょう！

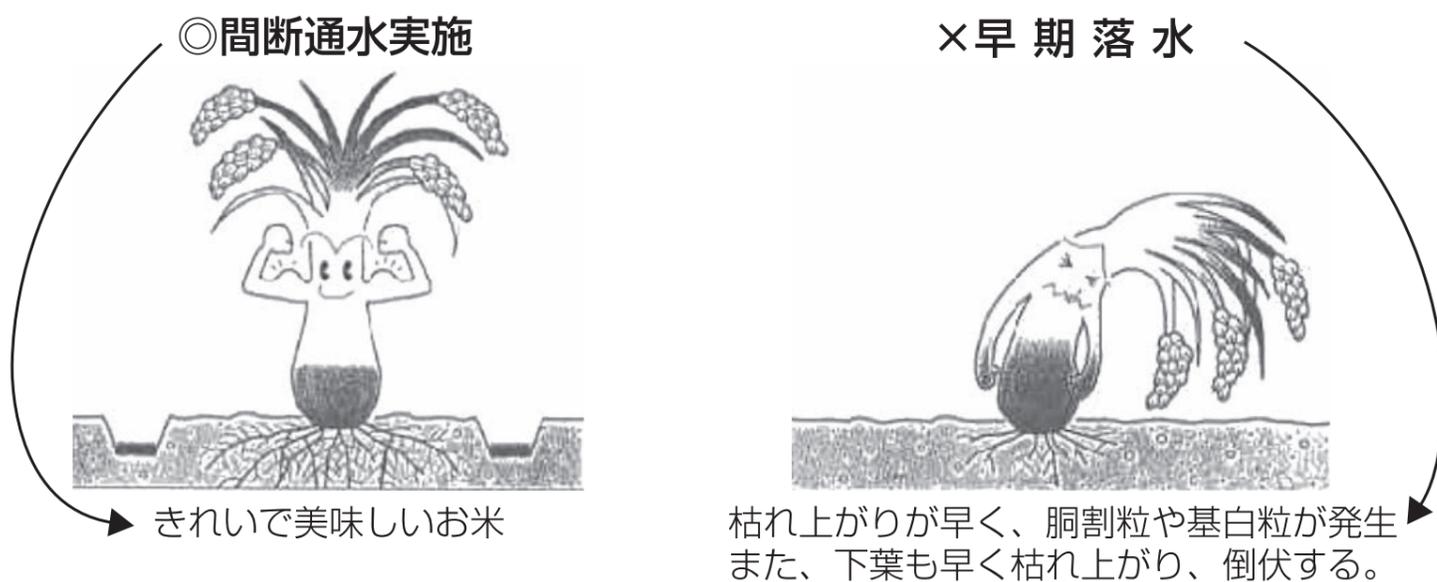
刈取りまでの水管理

1 飽水管理の徹底

- ◎こまめに通水して、常に土壤に水分を与え、乾き過ぎないようにする。
- ・気温の高い日が続くので、日中の湛水を避け、夕方から通水して根の機能低下を防ぐ。
- ・台風やフェーン現象などの強風時には一時的に通水（湛水）し、風がおさまったら速やかに排水する。

2 通水期間の延長 —早すぎる落水は、収量・品質の低下につながります—

刈取りの5日前まで間断通水（飽水管理）を続ける。



刈取り時期の目安

適期収穫に努め、刈遅れによる胴割粒や褐色粒の発生を防ぎましょう。

1 籾の黄化率で判断

- 1 穂の全籾数の80～90%が黄変したとき。
- 高温年：収穫開始80%、収穫適期85%
- 平年：収穫開始85%、収穫適期90%

☆刈取り適期の穂



〈刈取り適期の目安〉
籾の黄化率が85～90%になった頃

2 出穂後の日数での判断

ゆめみづほ	出穂後34～38日程度
コシヒカリ	出穂後37～42日程度

★ 畦畔等の除草は、収穫直前まで行わないこと！ ★
うまい・きれい金沢産米づくり運動実践中！

出穂から刈取直前までの1か月以上は①乾かさない ②ずっと溜めない ③すぐ落とさない